

事務事業名		男女共同参画推進センター運営事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	男女共同参画係		担当課長名	小菅 誠
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 男女共同参画の意識づくりの推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	2082	一般	2	1	15	男女共同参画推進センター運営事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
	実施方法		一部委託		事業分類		講座・教室・イベント等開催事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H21年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市男女共同参画推進センター条例、佐野市男女共同参画推進センター条例施行規則		リーディングプロジェクト	該当なし		
							市長マニフェスト	該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
男女共同参画推進の拠点施設として、男女共同参画推進センター事業の充実・拡充を図っていく。	男女共同参画推進の拠点施設として、男女共同参画推進センター事業の充実・拡充を図るため、団体企画実践講座を11回開催した。参考図書を8冊購入し、情報紙・ホームページ等で貸出等の情報提供を行っている。						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	講座実施回数	回	10	11	10	10	10
	収集図書数	冊	8	11	8	8	8

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

男女共同参画推進センター	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	関連団体数	団体	15	16	14	14	14
	所蔵図書数	冊	106	117	125	133	141

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

団体企画実践講座を開催してもらう。関連図書を収集し、貸出等の情報提供を行う。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	講座実施回数	回	10	11	10	10	10
	収集図書数	冊	8	11	8	8	8

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

男女共同参画の理解を深めている。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	男女共同参画講演会、研修会 延べ参加者数	人	463	549	375	380	385

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	178		180		191		191		191	
	事業費計(A)	千円	178		180		191		191		191	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			消耗品費	28	消耗品費	30	消耗品費	41	消耗品費	41	消耗品費	41
			事業委託料	150	事業委託料	150	事業委託料	150	事業委託料	150	事業委託料	150
人件費	人	2		2		2		2		2		
のべ業務時間	時間	220		240		240		240		240		
人件費計(B)	千円	856		946		946		946		946		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,034		1,126		1,137		1,137		1,137		

事務事業名	男女共同参画推進センター運営事業	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課	担当係	男女共同参画係
-------	------------------	-----	-------	-----	------------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	安足農業共済組合から建物の寄付があり、平成20年4月から大橋町事務所として使用を開始した。平成21年1月から佐野市男女共同参画推進センター条例が施行となり、センターとしての事業運営が可能となった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成22年12月に示された第3次男女共同参画基本計画において、男女共同参画センター・女性センター等の機能の充実・強化がうたわれている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	団体企画実践講座の受講後のアンケートでは、「大変良かった」「よかった」という回答が88.9%で概ね好評である。今後受講したい講座の内容としては、趣味や教養、男性向け、エンパワメント等が挙げられている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	担当職員が団体に対するきめ細かな支援を行うことにより、内容の充実に取り組むようになった。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 男女共同参画推進センターは、男女共同参画の活動拠点であり情報発信拠点である。施策「男女共同参画社会の実現」のためにも重要なものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 男女共同参画社会の実現は、男女共同参画社会基本法において、21世紀の我が国社会を決定する重要課題と位置付けられ、国及び自治体は、男女共同参画を推進するための施策を実施する責務を負う、とされている。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 当分の間は、講座の開催などで一人でも多くの市民の方に男女共同参画推進センターを利用してもらい、男女共同参画について理解していただく取り組みが必要である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 団体に委託している講座のアンケート等を参考にして、市民が関心を持つような講座を企画することにより男女共同参画センターの認知度も上がり、ひいては男女共同参画への理解が進むと考える。また、関連図書を継続的に収集することにより、常に新しい情報等を市民に対し提供できる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案 講座・教室・イベント等開催事業ということでは、類似事業はあるが、男女共同参画社会の実現を目的とするセンターは他にないため。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 男女共同参画の現状は、まだまだ改善を要する点が多く、より一層の取り組みが必要である。講座開催は、団体に委託しており、職員の支援は最小限の状況である。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 男女共同参画の推進を図ることは市民全体を対象とするものであり、講義形式のものについては受益者負担を求めることは不適當と思われる。また、料理教室など受講者に材料代などの費用負担を求めている講座もあり、適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	男女共同参画の現状はまだ低く、より一層の取り組みが求められており、また、国全体の課題であり、国の対応に準ずるものであるため、休止・終了は当面ないものとする。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 実施団体に対する支援を継続して行い、市民が関心を持つような講座を企画していく必要がある。 また、このことにより団体活動の充実が図られ、市民サイドからの男女共同参画の推進につながると考える。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	講座を実施した団体以外の会員にも関心を持ってもらえるような内容にしたり、周知の仕方をより工夫し、講座の参加者を増やす必要がある。
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			